

『港区たんけん手帳』の使い方

『港区たんけん手帳』には、港区をたんけんするための情報じょうほうがのっています。

- ・はじめに …p.1
- ・『港区たんけん手帳』の使い方 …p.2 ~ p.3
- ・港区たんけん地図 …p.4 ~ p.5
- ・港区むかしの昔をたんけん！
①~⑬ …p.6 ~ p.31

- ・港区のこれまで …p.32 ~ p.33
- ・港区と言えば、この人！
田端たはた区長くわうちょうに聞いてみよう
…p.34 ~ p.37
- ・港区のお宝たからスポットをたんけん！①~⑨
…p.38 ~ p.55

- ・空から港区を見てみよう！
…p.56 ~ p.57
- ・港区の一日を見てみよう！
…p.58



港区をたんけんしてみて、新しく発見はっけんしたことを書き加くわえたり、考えたことかんそうや感想を書きとめたり、手に入れた資料しりょうをまとめたりして、世界せかいにひとつしかないキミだけの『港区たんけん手帳』にしよう！



書きこみをするときは日づけを書いておこう。あとで見るときは便利だよ。



見つけた資料しん(チラシや新聞記事など)は折ったり、切ったりして、関係のあるページは、のりやホッチキスでとめておこう！



色ペンやスタンプつがを使って、色やマークで情報をグループ分けしておこう。



封筒ふうとうを切って貼りつけられ、資料を入れておく「かんたんポケット」のできあがり！



情報を書き加えたいときに便利なのが、ふせん。使うふせんの大きさまや色で、情報をグループ分けしてもいいかもね。



わくわくするたんけんをするための5つのコツ



げんば
**現場に
行ってみよう!**

じっさい ばしょ
実際の場所ではわからない
はっけん
発見があるかも! ちょっと遠い
場所に行くときは、お父さんや
お母さんと一緒^{いっしょ}にね。



と ちようさ
**聞き取り調査を
してみよう!**

かぞく ともだち
気になることは家族や友達、
きんじよ
近所の人に聞いてみよう。港区
むかし す
に昔から住んでいる人は、お宝
たから
情報をもっているかも!



**インターネットで
しらべてみよう!**

パソコン、タブレットなどを
つか
使って情報を検索! 気になった
けんさく
情報をどんどん調べよう。現場
したしら
の下調べにも便利だよ。



と しょかん
**図書館で
調べてみよう!**

インターネットにはない情報
があるのが図書館! 調べるプ
ロ・図書館の職員^{しょくいん}さんに相談^{そうだん}
すれば、調査^{たず}を助けてくれるよ。

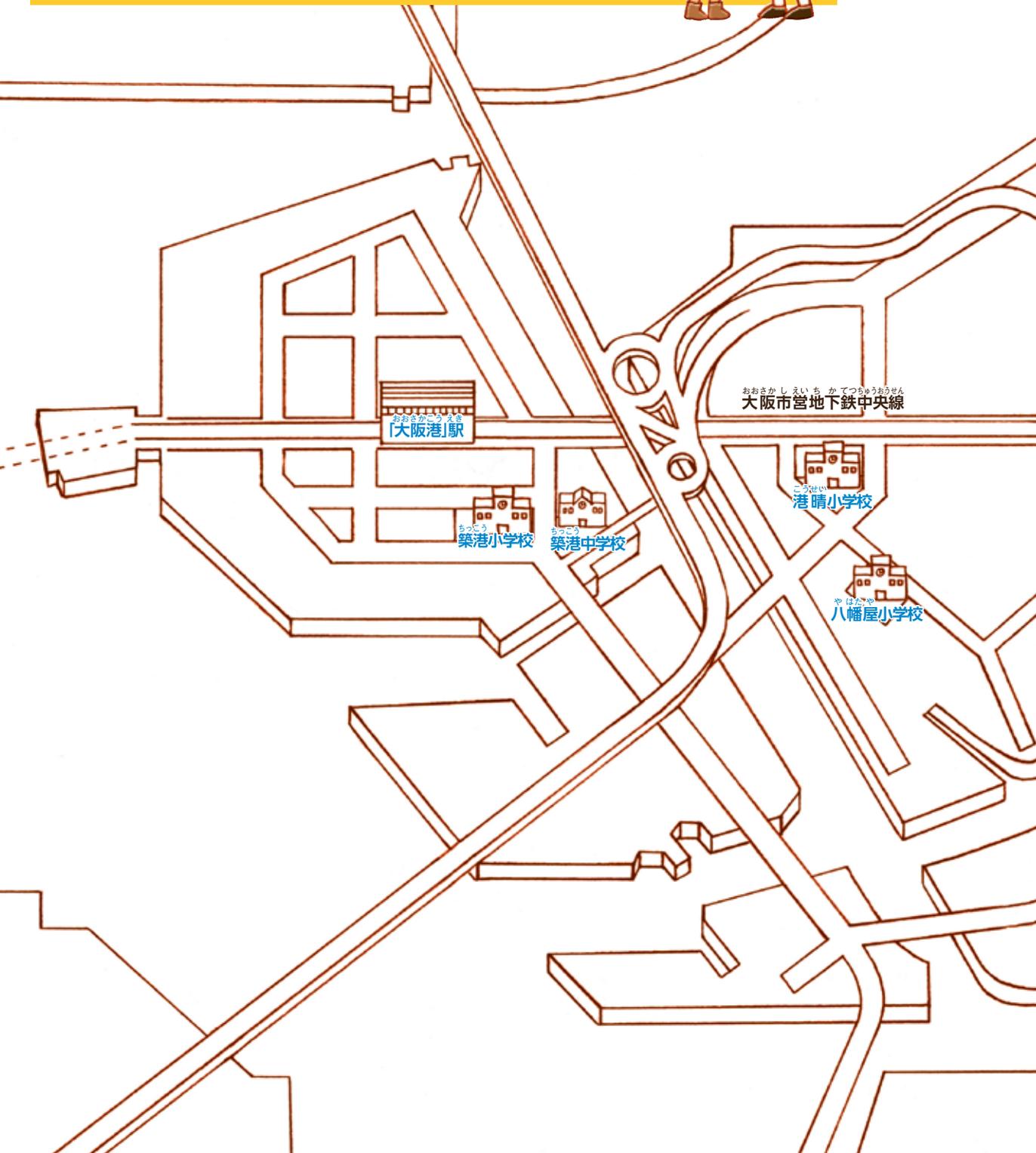


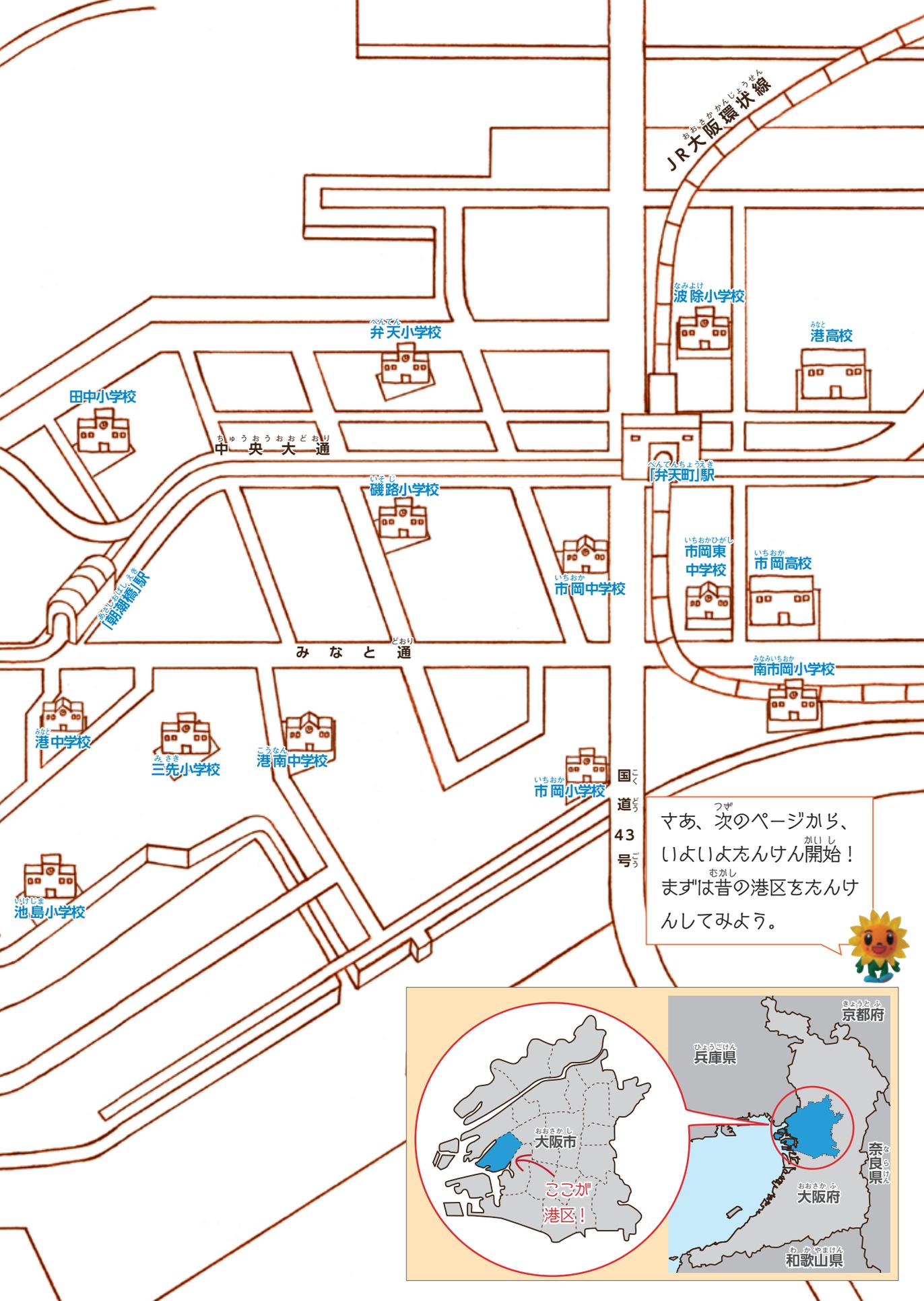
**キーパーソンを
しゆざい
取材してみよう!**

学校の先生やおうちの人に、
知りたい情報をたくさんもって
いそうな人^{しょうがい}を紹介してもらっ
て、話を聞きに行こう。

さて、たんけんをはじめる前に、まずはたんけんにかかせないアイテム「地図」をお渡しします。ただし、ふつうの地図と違って、港区のおもな道路・線路と学校だけがのった白い地図です。

色をぬったり、知っている場所や行ったことのある場所、この手帳を読んで行ってみた場所を書き加えて、キミだけの『港区たんけん地図』を完成させてね！





JR大阪環状線

波除小学校

港高校

田中小学校

弁天小学校

中央大通

弁天町駅

磯路小学校

市岡東
中学校

市岡高校

市岡
中学校

みなと通

南市岡小学校

港
中学校

三先
小学校

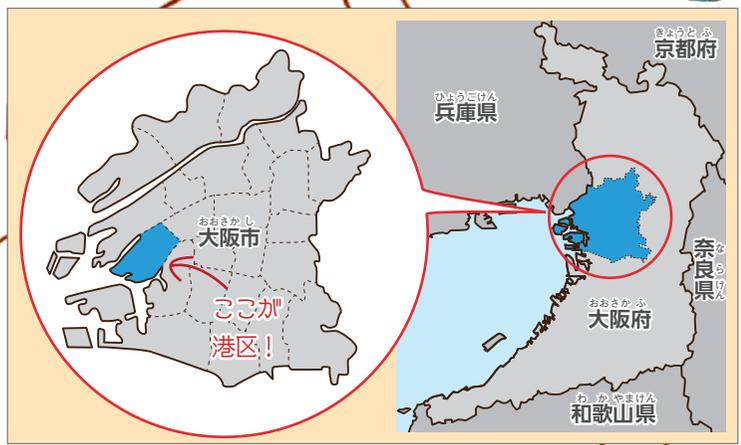
港南
中学校

市岡
小学校

国
道
43
号

池島
小学校

さあ、次のページから、
いよいよちんけん開始！
まずは昔の港区をちんけん
してみよう。





港区は昔、海の底にあった？



港区だけでなく、今の大阪市のほとんどの土地はその昔、海の中。古代からある陸地は、大阪城から住吉あたりまでの「上町台地」と呼ばれる南北に細長い高台だけで、今の港区は大阪湾の海の底でした。



大阪の土地は、川の上流から運ばれてきた土砂が長い年月をかけて少しずつ堆積して、つくられてきました。古代からの海岸線のうつり変わりを見てみよう！

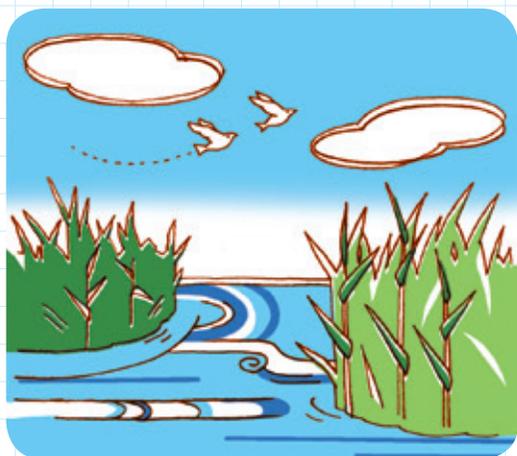


● よどがわ 淀川は港区の母!?

長い長い時の流れとともに土地は姿を変えていきます。淀川(旧淀川)の上流から運ばれてきた土砂が少しずつ堆積し、海岸線がうつり変わるとともに、かつて海の底だった今の港区のあたりには、たくさんの沼地や小さな島ができていきました。

これを埋め立てたり開拓したりして、だんだん今の港区となる土地ができていったので、淀川は港区の土地を生み出したお母さんと言ってもよいかもしれません。この後のたんけんで出てくる天保山も、実は淀川が運んできた土砂でできているんですよ。

大阪の土地を形づくり、人びとの暮らしや農業に必要な水を与え、人や物を運ぶ船の通り道にもなって、大阪のまちを豊かにしてきた淀川。そのいっぽうで、たびたび洪水をおこして住民を悩ませもしました。



※あし原…あし(湿地に生えるイネ科の植物)が、たくさん生えているところ。

さて、今の港区のあたりに人が住み始めるのは、江戸時代のなかごろに土地の開拓がすすんでから。江戸時代のはじめごろはまだ、沼やあし原が広がるだけで、人は住んでいなかったようです。今のような港区のまちになるまでにどんなことがあったのでしょうか？ さあ、たんけんを続けましょう！

🔍 調べてみよう! ①

高台の土地には早くから人が住んでいたらしい。「大阪」に人が住みはじめたのはいつだろう？



🔍 調べてみよう! ②

大阪そして港区の母ともいえる淀川。いったいどこから流れてきているんだろう？

